

姉妹都市提携20周年
記念事業を振り返って

昨年は、登別市・白石市姉妹都市提携20周年を迎え、記念行事や式典が多くのご関係者のご協力とご支援により盛大に行われ、無事終了しましたことに感謝申し上げます。

明治2年、白石城片倉小十郎邦憲より3代にわたり、開拓の礎を入れたとの歴史的ゆかりに基づき、両市が友好と理解を深め、相携えて発展することを目的に、昭和58年に登別市と宮城県白石市が姉妹都市の盟約を提携し、経済・文化・教育・スポーツなど幅広く交流を重ねてまいりました。

昨年9月6日、刈田神社例大祭に合わせて行われた記念行事と式典では、正午より、片倉家御膳披露会が開かれました。食材などの



片倉重信さんの記念講演会



鈴木 実さん

都合もあり50人限定でしたが、白石市割烹大乗の社長より御膳の由来を聞きながら歴史をはじめおいしくいただきました。

行事2部では、伊達政宗公を祭神としている仙台市の青葉神社は、歴代片倉家が宮司を務めていて、その16代目になる片倉重信さんに『縁は不思議』と題して講演をいただき、大変軽妙で含蓄のあるお話しに感動を受けました。

いよいよ祝賀会がはじまり、リハーサルなしで少し心配もありましたが、北海自衛太鼓ではじまり、信頼と尊敬のセレモニーで登別市・白石市の両市長が登場。前段で少々お酒も入り両市長とも、にこやかにジョークを交えたあいさつで祝賀会は盛り上がりました。

次は、友好交流セレモニーで、今回は同じ歴史的背景を持つ札幌市白石区ふるさと会の副会長と札幌市白石区長が登場。登別市の姉妹都市交流推進協議会と友好交流の盟友提携が白石市の姉妹都市親

善交流会の仲立ちで行われ、今後は登別市・白石市・札幌市白石区の2市1区が友好交流をすることになりました。このことは、今後の子どもたちの教育・文化・スポーツ交流に大きなインパクトがあり、心より歓迎申し上げる次第です。

アトラクションは、2市1区よりそれぞれ伝統芸能が披露され、2時間があつという間に過ぎ祝賀会を終えることができました。これまでの20年を祝い、またこれからの20年、信頼と友好のきずなを誓い合う楽しい祝賀会であつたと思います。

10月31日、同じく白石市で農業祭に合わせ、姉妹都市提携20周年祝賀会が開催され、登別市より一般参加者を含め50数人が参加し、歓迎を受け盛大に20周年をお祝いしてまいりました。
(常盤町/鈴木 実さん・登別市・白石姉妹都市交流推進協議会会長)

たくさんのご投稿、
ありがとうございます。
した。

掲載させていただいた
『手紙』は順不同です。

12 月



郷土資料館体験学習
『正月用しめ飾りづくり体験』(12月13日)

11 月



第16回アイヌ民族文化祭(11月8日)

2003年を振り返って⑧